

学んで 話して 楽しい にほんご教室

「夢気球だより」編集部 発行

〒610-0121

城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内

電話 0774-57-0713

ご意見・投稿先 nicyama0323@gaia.eonet.ne.jp <西山雅文>



夢気球だより



6月26日 授賞式にて「おめでとうございます」

宇治鳳凰ロータリークラブが主催する外国人を対象にした作文コンクールで、日本語教

優秀賞受賞

外国人による日本語作文コンクール

室学習者のチョンさんとジョンマさんが社会人部門・大学生部門でそれぞれ優秀賞を受賞

されました。チョンさんは、ベトナムからの実習生で来年度の春には3年の期限が来て帰国されます。毎日の仕事の中、日曜日に「ぼれつとJOYO」で日本語を勉強し、7月の日本語能力検定試験のN3を受験する勉強家の好青年です。ジョンマさんは、中国からの一年余りの交換留学生で、彼女も来年の春には帰国されます。残り少ない日本での大学生活、夢気球で

している学生さんたちの真摯な姿に良い刺激を受けました。日本の食べ物、漫画やアニメ等の話題で盛り上がり、日本のPOPカルチャーが世界でも愛されているとあらためて、実感！近藤家見学は、私にとっても興味深いもので、学生さんたちが多方面から日本を知り、理解できるようい機会になったと思います。日本人である私も、自国の文化を勉強せねば！と思いました。

今回のコンクールは、宇治鳳凰ロータリークラブが初めて主催した外国人を対象にした作文コンクールでした。応募作品をJIEAで二人一緒に送ることと、締切日が月曜日必着ということがあり、締切前週はチョンさんは原稿を青谷の職場から夜おそく自転車で行きつけのコンビニまでJIEAまで持って来られました。ジョンマさんは大半はできていたのですが、のこりをその日の教室の中で完成できず、遅くにJIEAで完成することになりました。

JIEAの皆さんの協力もありましたが、お二人が苦勞の末応募された作品です。お二人の受賞作品はJIEAのホームページに公開させていただきます。

「夢気球」第三回総会 日本語教室夢気球も3年目を迎え、2014年度4月20日に第3回日本語教室「夢気球」の総会が開催されました。

杉島代表のあいさつから始まり夢気球の運営に関する説明。そして退任される役員のご報告や新任役員の紹介がありました。退任される役員の方(会計担当の瀬古さん)長い間お疲れ様でした。新しく役員になったわたくしこと岸本はどれだけみんなのお力になれるかわかりませんが、一生

夢気球の活動報告があり、中でも印象的だったのは、インターネットを通して、地球の裏側アメリカから夢気球のホームページを見て「1か月だけでも日本語のレッスンをやるのは可能ですか」という問い合わせがあり、1か月だけではありませんが、はるばるアメリカから夢気球のレッスンを受けに来られた方もいらっしやいました。というエピソードを聞いて、昔だったら

こんなことは考えられなかったのに、インターネットやホームページのおかげで「本当に世界はつながっているんだなあ」と感じました。本當にうれしく思いました。そして私たちがやっていることは、無駄ではなく、お金では買えない喜びを味わいました。第2部では、第11回支援者交流会が支援者を中心に行われて、お茶とチーズケーキを囲んでみんな、和気藹々と授業の様子や進め方、そして困っていることや工夫していることなどが話し合われました。本當に有意義な総会で、私も夢気球のメンバーであることが誇らしく思われました。

庶務 岸本秀子

クラークカレッジ来訪

学生たちとの交流



城陽市へようこそ

6月3日、二年ぶりに来日した姉妹都市であるバンクーバーに所在する、クラークカレッジの大学生7人と夢気球5人そして学習者1名と交流会を持ちました。学生は、大学の日本語コースで学習している。夢気球の活動である日本語支援というつながりで2回目となる

夢気球との交流になります。まず寺田の近藤家を見学し、当主から説明を聞き、初めて見る300年続く日本の住宅家の様に、峯松さんの通訳と当主の断片的な自慢の英語を耳にしなが、まさに目を丸くして、聞きつけていました。JIEA

「日本の文化に興味を持ち、日本語を勉強したい。」

参加された奥田るみ子さんから次のようなコメントをいただきました。

夢気球との交流になり、当日の日本語教室の参観(ジョンマさんと渋谷)をし、その後、日本語での交流会。

日本の病院

「入院記」

中国出身 村田茂生

私は2014年2月6日に入院して、2月22日に退院しました。

案内してくれました。毎日充実した生活をしていました。住んでいるセンター留学生がピアノを弾いてもよく活動を行われて、パーティーの幕を開きます。生け花とか、卓球とか、いろいろな国の留学生が参加するので、一堂に集まって交歓時とみられていました。それから、京都文教大学の学生センターには22ヶ国、115名が住んでいました。「京都にある小さな地球」と言われてもいいと思います。

4月19日、午後七時から新入生を歓迎するために「ピンゴ」と言うゲームを行いました。勝ちを制した人が賞品をもらいました。全部晴れやかな雰囲気になりました。友達と運佛先生もいらっしやいました。138人パーティーに参加しました。まず、自分が好きな飲み物を選んで、おいしい日本料理を食べます、毎日の生活は希望を満ちています。

6月29日の日曜日、私は日本語の先生と他の生徒、約15人と一緒に平等院へ遊びに行きました。

原文のまま掲載させていただきます。

京都にある小さな地球

中国留学生 ジョンマ

時間は流れる水のよう、もうすぐ日本に来て半年になります。城陽国際交流協会の日本語教室の先生たちのおかげで、京都のいろいろな場所へ

4月19日、午後七時から新入生を歓迎するために「ピンゴ」と言うゲームを行いました。勝ちを制した人が賞品をもらいました。全部晴れやかな雰囲気になりました。友達と運佛先生もいらっしやいました。138人パーティーに参加しました。まず、自分が好きな飲み物を選んで、おいしい日本料理を食べます、毎日の生活は希望を満ちています。

6月29日の日曜日、私は日本語の先生と他の生徒、約15人と一緒に平等院へ遊びに行きました。

原文のまま掲載させていただきます。

原文のまま掲載させていただきます。

教室通信

JIEAでの新しい教室です。「ぼれつとJOYO」での新しい教室は次号でお知らせします。

編集部 西山雅文



6月15日付けの「広報しようよう」に掲載されたとおり、3回の実習を含め、7月19日から10月4日にかけて、城陽市では去年に続き3回目の日本語支援ボランティア養成講座が開催されます。9月28日(日)に予定されている「3周年記念交流会」には、養成講座受講中の方も参加していただき、10月の講座修了後には、新しい仲間として活躍していただくと期待しています。

編集部 西山雅文